



「育児もしっかり」が 実践できる仕事・職場

今野 顕子 Akiko Konno

国税調査官

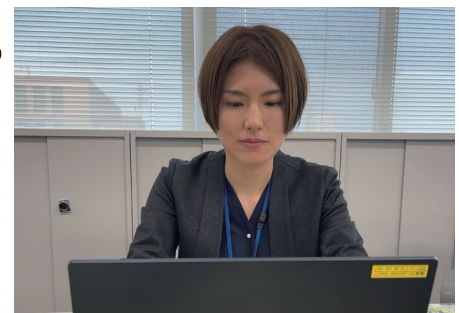
平成22年採用

課税第二部 調査部門(間接諸税担当)

Q. 仕事を通じて達成感を感じるのはどんなとき?

私の部門では、大規模法人や金融機関に対する印紙税調査及びガソリンなどを製造販売している製油所の揮発油税調査などを行っています。例えば揮発油税の調査では、複雑な製造過程を追って工場内の現場確認を行うなど、他の部門では経験できない仕事をしています。

調査において、あらかじめ想定した問題点の確認を現場の状況に応じて創意工夫して行いますが、それが結果に繋がったときは達成感を感じます。



Q. 子育てとの両立において助けられた制度は?

子どもが未就学児だったときは、保育園の送迎などに短時間勤務を利用しました。体調を崩すことも多い乳幼児期は、特別休暇(看護休暇)を取得することで、年次休暇を取得することなく看病できました。子どもが成長した現在は、フレックスタイム制度を利用することで習い事の送迎ができています。子どもにとって精神的な支えが必要なときは、短期間の早出遅出勤務を利用するなど、仕事と家庭との両立を図っています。第二子出産の際には、同じ職場の夫も育児休業を取得しており、夫婦で育児支援制度を利用しながら子育てを行っています。



Q. これからチャレンジしたいことは?

育児休業から復帰してすぐは、「まだ子どもが小さく、育児中だから」との理由で、難しい仕事を避けていましたが、徐々に難しい仕事にも挑戦したいと思うようになりました。今年、久しぶりに調査事務に従事することになり、当初は不安でしたが、育児支援制度を利用することで仕事と育児の両立ができています。これからは、もっと経験を積んで視野を広げていきたいです。



メッセージ Message

「公務員 = 福利厚生が充実」という当初のイメージどおりで、育児休業は男女共にほぼ100%が取得。女性もぜひ目指してほしいです。

